



2015年10月19日

『サンメッセ統合レポート2015』発行のお知らせ

当社は、2014年度の財務情報やESG情報を総合的に開示した統合レポート「サンメッセ統合レポート2015」を発行いたしました。

今年度は、グローバルスタンダードになりつつあるIIRC（国際統合報告評議会）統合報告フレームワークをより意識し、さらにレベルアップした「統合レポート」の作成をめざしました。タイトルも新たに、従来に比べコンパクトな内容で読みやすく、そして当社に対するご理解を深めていただくことを主眼に編集いたしました。

特集として「当社の重要課題（マテリアリティ）」の特定を記載しております。当社にとっての課題に対する経営の考え方や事業戦略、また具体的な取り組みまで、一貫性を持たせたレポートとなるよう意図しました。本レポートの主なポイントは、下記の通りです。

- (1) トップメッセージでは、新・中期経営計画で提示した「当社のめざすべき姿」の実現に向けての、具体的な成長戦略や、当社の強みについて語っています。
- (2) 財務レビューとして、2015年3月期より連結決算へ移行した経緯や、2014年度の財務面からみた業績分析、また当社の財務戦略についてご紹介。
- (3) 営業と製造の各役員より、当社の企業価値向上に向けた戦略を掲載。営業部門では総合力・組織力を活かした企業価値創造について、製造部門では生産革新のための施策などをご紹介。
- (4) マテリアリティを特定するワークショップを社内横断組織により実施。そのプロセスを、ここで特定された当社のマテリアリティとしてご紹介。またそれぞれの課題から、具体的な取り組みをダイジェスト掲載しています。
- (5) ロイドレジスタークオリティ アシュアランス リミテッド社の富田秀美氏から、外部専門家意見として、様々な角度からご意見をいただいております。
※富田氏は、GRI国際サステナビリティ標準化ボードメンバーでもあります。
- (6) インフォグラフィックを活用し、読みやすく、わかりやすい誌面となるよう配慮。
- (7) 冊子版ではページ数を大幅削減し、詳細は、Webサイトにて網羅性を掲載するメディアミックスによる情報開示を展開しています。 (<http://www.sunmesse.co.jp/report/>)
- (8) Webサイトは、「レスポンス Webデザイン (RWD)」完全対応のコンテンツとし、スマートフォンなどデバイス媒体での可読性にも配慮しております。

当社は、皆様のおかげをもちまして創業80周年を迎えることができました。

今後も、あらゆるステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深め、持続的な企業価値向上に向けて取り組みを進めてまいります。

以上